

『自然な表現』（9月22日配信）

こんにちは、戸田です。よろしくお願いします。

今日は、ろうの子どもが自然に表現したものに感動した話をします。

私は、ろう学校の幼稚部で働いています。幼稚部には誕生会があります。これは毎月開催します。その月に生まれた子の誕生会を毎月やります。誕生月の子が得意なことを発表したり、ケーキのろうそくを吹き消したりします。友達からプレゼントあります。自分の誕生月を心待ちにする人気のイベントです。

一番盛り上がるのは、ケーキのろうそくを吹き消すところです。ケーキは作りものですが、ろうそくと火は本物です。対象の子どもの年齢に合わせてろうそくをケーキにさします。本物の火を点け、部屋の電気を消します。そこで火を吹き消すと、みんながおめでとうと盛り上がります。誕生会の一番の盛り上がりどころです。その際に子どもの自然な手話に感動しました。

誕生会は、年長の子子どもが司会を務めます。持ち回りで年長の子が務め、前日には練習もあります。今から誕生会を始めますや、今月の誕生日の子どーぞ、今からろうそくを吹き消します、プレゼントをどうぞ、これで誕生会を終わりますという流れを司会が行います。めくりに合わせて司会進行を行います。普段なら前日に先生と練習を行います。

たまたま今回司会担当の女の子は忙しく練習が出来ませんでした。めくりに合わせて進行します。年長ですから誕生会は何度も経験していますが、司会でとても緊張していました。向かいに先生が立ち先生の表現を確認しながら進めて居ました。そして閉会となりました。いつもなら、これで誕生会を終わりますと表現します。でもその子は、しばらく考えた後、ろうそくを吹き消す会と表現しました。今までは、大人が日本語通りの誕生会、生まれると会を表し誕生会としていました。私も使用していました。でもその子が吹き消す会と表現したのを見て、驚きとともにとても感動しました。子どもたちからすれば、誕生会の一番印象的なことはケーキのろうそくを吹き消すことです。それが自然に吹き消す会とあらわされたのです。誕生会は大人が日本語に合わせたもので、子どもは吹き消す会。確かに普段の子どもたちとの会話では、誕生日の表現はあまり使いません。吹き消すおめでとうと自分も表現していました。でもイベントとなると誕生会と私は表現していました。子どもたちは、普段の会話の吹き消す会を使っています。子どもが自然に使用する生まれてくる表現こそが手話言語と実感しました。誕生会の表現はやめて、今後は吹き消す会に表現を変えることにしました。1点聴者のみなさんに注意してほしいことは、吹き消すときに誕生会と口を動かさないでください。文法があります。ろうそくの表現と吹き消す口でふー会です。幼稚部では、そうすることにしました。